

市民文芸

短歌 阿南市文化祭秋季短歌誌上大会 選

入選 ゆらゆらと背が高すぎて倒れそうひまわり
りに似た菊芋の花 西井あつ子

市街化と線引きされし小さな田を夫と二人で細々守る 高尾 久枝

入選 遠ざかる夏を慕いて夕風の渚をゆけば女浪豊けし 矢野 道子

入選 美誠・隼の攻め抜き卓球金メダル互に掛け合う幼馴染よ 森 ゆき子

入選 聞こえるくる炭の音色がパツパチ三密回避自宅バーベキュー 尾崎 将

入選 米寿超え卒寿も超えてこれからは百歳目指し気楽に歩む 田原トシ子

入選 白萩と赤萩風に小刻みに揺れつつ深む長月の庭 高野カヨ子

入選 シンジャアの白き花咲き萩こぼれ朝の庭に癒されている 入谷五十鈴

入選 荒れ皺の手にハンドクリームたつぷりと擦り込み一日を終りとす 金本ひろみ

俳句 阿南市俳句連合会 選

春寒や辞書にはさみし虫めがね

山里の朝靄さいて春の鴉

早桜映すカメラの重さうな

三月や角の削れし風と会う

城垣の巨岩破りて藪椿

金縷梅薄目を集め花ほどく

合唱の曲は「ふるさと」梅開く

コロナ禍を避けてハイカー春の山

老いの身に春光まぶし散歩みち

庭先の会話はづめり牡丹の芽

岡久 玲子

横井 知昭

宮崎三千代

鈴木 順子

中富はるか

庄野 早苗

表原 清美

田木 勲

西條 佳恵

片山 幸美

川柳 阿南川柳会 選

都合よく物忘れして今昼寝

今越える父も知らない喜寿の坂

一人分弁当買って二人分

深追いはしない息切れしてるから

無事過ごす先祖様に感謝して

暇そうな人の口癖いそがしい

天国へついでについて行こうかな

一般応募

青空を画紙にして書く飛行雲

改革の度に年金減らされる

総菜の足しになるほど飲む菓

漢詩 阿南漢詩研究会・青松吟社 選

酸橘

阿州小果碧如磨

酸汁香皮夏日加

人切半分添肴膳

十中八九有家家

田中 公

阿州の小果 碧磨くが如く

酸汁香皮 夏日に加う

人半分に切り 肴膳に添う

十中八九 家家に有り

雪中花

葉作線形高品位

花如喇叭馥堤邊

起源希臘因神話

恍惚少年爲水仙

吉形 和恵

葉は線形を作し 品位高く

花は喇叭の如く 堤辺に馥る

起源は希臘 神話に因る

恍惚の少年 水仙と為る

蒲生田岬

蒼天碧海濯巖波

白堊燈臺送晚霞

紀淡遙望春色遍

瀛寰萬里客船過

原 美智子

蒼天碧海 巖を濯うの波

白堊の灯台 晚霞を送る

紀淡遙かに望めば 春色遍く

瀛寰万里 客船過ぐ



【きゅうり】

温暖な冬期の気候とハウスにより、12月～5月は促成栽培を中心に周年で出荷。カメラ式自動選果機の導入など、品質管理の合理化も進めています。艶があって歯切れのよい品種の栽培に注力し、みずみずしさに定評があります。